

令和4年度 社会福祉法人みどり市社会福祉協議会

事業報告書及び附属明細書

【概況報告】

本会では、「みんなが輝く どんなときも支え合える 理想のまち」を基本理念に、令和4年度において、以下の重点項目を掲げ、事業を実施して参りました。

I 事業継続計画の策定と災害ボランティアセンターの設置運営訓練

大規模災害及び感染症発生時等において、各種事業を継続または休止するかについて、各事業所からの意見集約に時間を要し策定には至らなかったがその準備は整いつつある。

災害ボランティアセンターでは、11月20日に大間々東中学校でみどり市の防災訓練に併せて設置運営訓練を実施することができ、災害ボランティアセンター設置に向けた流れを再確認できた。

II 日常生活自立支援事業の取り組み

令和4年度から基幹化し、自主運営するにあたり、桐生市社協及び県社協指導のもと、契約の変更手続きや金融機関で代理権変更手続きを問題なくスムーズに行うことができた。また、利用者支援にも影響はなかった。なお、事業内容に対する市民や関係機関（民生委員や相談支援専門員、介護支援専門員等）の認知度をより一層高めることが課題である。

III コロナ禍における新たな福祉活動支援の検討

福祉サービスの低下を招かないよう、感染対策を徹底した上で、各種事業を実施した。コロナ禍以前よりも事業参加者は減少したが、コロナ禍以前と同様の取り組みを実施することで、改めて地域のつながり、人と関わることの温かさを実感いただけたことができた。しかし、新しい支援方法を検討したが、コロナ禍前の方法により実施するにとどまった。

IV SDGsの視点を取り入れた事業展開

生活困窮世帯への支援、介護事業の実施、学童クラブ運営、障がい者への支援等、SDGs（※1）の「誰一人取り残さない」という視点も取り入れつつ、地域共生社会（※2）の実現に向けて、各種事業に取り組んだ。特に、生活困窮者に対する支援は、相談件数が多い中、包括的な支援となるよう業務に取り組んだ。

ここに改めて市民の皆さんをはじめ、ご支援、ご協力いただいた関係各位に感謝申し上げますとともに、本会では引き続き市民サービスを停滞させることなく各種事業に取り組んで参りますので、今後とも地域福祉推進のため、一層のご理解とご協力をお願いいたします。

【 凡例 】

- ・ 各種事業の詳細は附属明細書として記載しています。
- ・ 表中にある（ ）内の数字は前年度との比較を示しています。
- ・ 社会福祉法人みどり市社会福祉協議会を「みどり市社協」と記載しています。
- ・ 新型コロナウイルス感染症を「新型コロナ」と記載しています。

※1 持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）。2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標。

※2 世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがいや地域を共に作っていかうとする社会。

■ 法人運営 (成果)

- 1 令和3年度中に達成できなかったSNS(※3)に関して、令和4年度中にSNSを開設し、職員が投稿できるように整備することができた。また、新たに市民向けのパンフレットを作成し、本会の周知活動に力を入れることができた。
- 2 複雑化・多様化する福祉ニーズに迅速に対応するため、介護事業所を統合したことと併せて、在宅福祉センターを新設した。
- 3 税に関する新たな制度（インボイス制度(※4)、電子帳簿等保存制度(※5)）の対応に向けて研修を受講し、さらには税理士事務所からの助言により準備を進めることができた。

(課題)

- 1 令和4年度の重点事項だった、事業継続計画の策定について、各事業所と協議した結果策定には至らなかったがその準備は整いつつある。
- 2 法人連絡会の設立について、令和6年度内の設置に向けて、他市町村の設立会議等に出席し、情報収集を行った。本会として設置に向けた取り組み方法をさらに検討する必要がある、結果的に情報収集にとどまった。
- 3 社協会費の納入世帯が毎年減少している。既存の方法だけでなく、SNSや社協パンフレットを積極的に活用することで、みどり市社協の事業等についてより理解を促していく必要がある。
- 4 介護事業所の統合はできたものの、複雑化・多様化する福祉ニーズに対応できる人員が不足している。国家資格取得を促すことや、積極的な職員採用を継続的に行っていかなければならない。

※3 ソーシャルネットワーキングサービスの略。インターネット上で他人同士がつながることができるサービスの総称。

※4 消費税を納める義務のある事業者が支払った消費税を計算する際に必要な手続要件。正確に消費税を計算するために必要な制度。

※5 国税関係の帳簿や書類を電子的に保存する際の要件等について定めたもの。

1 理事会、理事専門部会、評議員会、監査、正副会長常務理事会議、評議員選任・解任委員会、苦情解決第三者委員会等の開催

(1) 理事会の開催

【第1回理事会】 令和4年6月7日 みどり市立厚生会館 第1・第2会議室

報告第1号 理事及び評議員の交代について

報告第2号 会長及び常務理事の職務執行状況報告について

報告第3号 専決処分（令和3年度第2回収支補正予算）の報告について

議案第1号 令和3年度事業報告の承認について

議案第2号 令和3年度決算の承認について
監査報告

議案第3号 令和4年度定時評議員会の開催について

その他

【第2回理事会】 令和4年10月4日 みどり市立厚生会館 第1・第2会議室
内 容 大間々庁舎への移転に伴う今後の方向性について

【第3回理事会】 令和4年11月14日 みどり市立厚生会館 第1・第2会議室
報告第1号 会長及び常務理事の職務執行状況報告について

議案第1号 大間々支所の事務所をみどり市役所大間々庁舎へ移転することについて

議案第2号 定款の一部変更について

議案第3号 令和4年度第1回収支補正予算の設定について

議案第4号 理事候補者の評議員会への推薦について

議案第5号 評議員候補者の評議員選任・解任委員会への推薦について

議案第6号 令和4年度第2回評議員会の開催について

その他

【第4回理事会】 令和5年3月17日 みどり市立厚生会館 第1・第2会議室
報告第1号 評議員の交代について

議案第1号 令和4年度第2回収支補正予算の設定について

議案第2号 職員就業規則及びパート職員等の就業規則の一部改正について

議案第3号 役員等賠償責任保険について

議案第4号 令和5年度事業計画の策定について

議案第5号 令和5年度収支予算の設定について

議案第6号 理事候補者の評議員会への推薦について

議案第7号 評議員候補者の評議員選任・解任委員会への推薦について

議案第8号 令和4年度第3回評議員会の開催について

その他

(2) 評議員会の開催

【第1回評議員会】 令和4年4月28日 書面開催
議案第1号 理事の選任について

- 【定時評議員会】** 令和4年6月24日 みどり市立厚生会館 第3会議室
報告第1号 理事及び評議員の交代について
- 報告第2号 専決処分（令和3年度第2回収支補正予算）の報告について
- 議案第1号 令和3年度事業報告の承認について
- 議案第2号 令和3年度決算の承認について
監査報告
- その他
- 【第2回評議員会】** 令和4年11月24日 みどり市立厚生会館 第3会議室
議案第1号 大間々支所の事務所をみどり市役所大間々庁舎へ移転することに伴う定款の一部変更について
- 議案第2号 令和4年度第1回収支補正予算の設定について
- 議案第3号 理事の選任にかかる評議員会に代わる書面表決の実施について
- 【第3回評議員会】** 令和5年3月28日 みどり市立厚生会館 第3会議室
報告第1号 評議員の交代について
- 議案第1号 令和4年度第2回収支補正予算の設定について
- 議案第2号 令和5年度事業計画の策定について
- 議案第3号 令和5年度収支予算の設定について
- 議案第4号 理事の選任にかかる評議員会に代わる書面表決の実施について
- その他

- (3) 監査の受審 令和4年5月27日 みどり市社協 本所
【 決算監査 】 令和3年度業務及び決算監査
- ①事業報告
 - ②決算報告
 - ③理事の職務執行状況
 - ④預金残高の確認
 - ⑤その他

(4) 正副会長常務理事会議の開催

回数	日程	会場
第1回	令和4年4月12日	みどり市社協 本所
第2回	" 5月23日	
第3回	" 6月14日	
第4回	" 7月12日	
第5回	" 9月13日	
第6回	" 11月1日	
第7回	" 12月13日	
第8回	令和5年1月17日	
第9回	" 2月14日	
第10回	" 3月7日	

(5) 評議員選任・解任委員会の開催

回数	日程	会場
第1回	令和4年5月30日	みどり市社協 本所
第2回	令和5年1月26日	

(6) 苦情解決第三者委員会の開催

回数	日程	会場
第1回	令和4年7月22日	書面開催

2 会員制度の充実強化

本会の趣旨に賛同する世帯に対して一般会員及び特別会員として協力いただき、法人の基盤強化並びに地域福祉の推進に役立てた。昨年度と比べて加入世帯数が減少した。

会費区分	基本単価	件数	金額
一般会費	1世帯 500円	14,928世帯 (-151)	7,464,500円 (-76,000)
特別会費	1世帯 2,000円	13世帯 (-1)	26,000円 (-2,000)
合計		14,941世帯 (-152)	7,490,500円 (-78,000)

3 諸規程及び要綱の整備

本会の就業規則について、法律の改正内容に基づく部分を改正するとともに、職員のワーク・ライフ・バランス(※6)による仕事と家庭の両立及び職員の柔軟な働き方やメンタルヘルスに寄与するため、就業時間の改正や半日休暇制度の創設を行った。

※6 働くすべての人が、仕事と私生活の両方を充実させる働き方や生き方。

4 情報共有の推進及び情報漏洩防止の推進

各部署で円滑に事務が進められるよう、サーバーを活用し事務作業を行った。関係機関からのメールを受信した際、ウイルスチェックを強化することで適切なサーバー管理及び情報漏洩防止に努めた。さらには、不審なメールを開封しないよう各事業所で情報共有に努めた。

5 非常時に備えた事業継続計画の策定

事業継続計画の策定に向けて、計画書の作成に取り組んだ。各事業所と協議した結果、令和4年度内の策定はできなかったが、その準備は整いつつある。

6 福祉活動研修事業の充実

【法人運営関係】

- ・伊勢崎市社会福祉法人連絡会 情報交換会
- ・伊勢崎市殖蓮、北、三郷地区における災害等に関する情報交換会
- ・桐生市社会福祉法人・社会福祉施設連絡会 設立記念式典、記念講演会
- ・市町村社協社会福祉法人等連絡会 担当者情報交換会 (Web開催)
- ・障害者雇用連絡会議
- ・社会保険の事務手続きの説明会
- ・防災功労者内閣総理大臣表彰記念講演会「片品村社会福祉協議会の軌跡」
- ・市町村社会福祉協議会経理研修会
- ・第2回市町村社会福祉協議会経理研修会
- ・安全運転管理者講習会
- ・職連協ステップアップ研修
- ・職連協SNS運用に関するセミナー
- ・市町村社会福祉協議会 介護・障害サービス管理者等情報交換会
- ・市町村社協会長トップセミナー
- ・社協会長会・市町村社協会長部会
- ・社協常務理事事務局長会議
- ・温泉施設設備審議会
- ・障がい者地域支援協議会
- ・群馬県未来構想フォーラム
- ・みどり市子ども・子育て会議
- ・みどり市国民健康保険運営協議会
- ・みどり市総合計画審議会
- ・みどり市男女共同参画審議会
- ・みどり市介護保険事業推進懇談会
- ・令和4年度 市町村社協地区別懇談会 (桐生・伊勢崎・太田・館林・みどり)

【地域福祉関係】

- ・群馬県ふくし総合相談支援研修(Web開催)
- ・令和4年度群馬県ふくし総合相談支援事業全体会議及び市町村社協担当者会議
- ・群馬県なんでも福祉相談支援事業 全体会議(Web開催)
- ・群馬県なんでも福祉相談員地区別連絡会議
- ・群馬県なんでも福祉相談員基礎研修 I (Web開催)
- ・なんでも福祉相談員スキルアップ研修(Web開催)
- ・住民支え合いコーディネータースキルアップ講座①②(Web開催)
- ・市町村社会福祉協議会 地域福祉・ボランティア担当者会議(Web開催)
- ・令和4年度 日常生活自立支援事業 専門員新任者研修 I (Web開催)
- ・令和4年度 日常生活自立支援事業 専門員研修(Web開催)
- ・令和4年度 日常生活自立支援事業 専門員連絡調整会議
- ・令和4年度 日常生活自立支援事業 専門員新任者研修 II

【在宅福祉関係】

- ・令和4年度群馬県内社協職員連絡協議会ステップアップ研修会
- ・生活支援コーディネーターブロック別情報交換会(東部ブロック)
- ・生活支援コーディネーターブロック別情報交換会幹事会
- ・生活支援体制整備事業・勉強情報交換会
- ・みどり市地域ケア会議
- ・みどり市自立支援型地域ケア個別会議
- ・令和4年度群馬県社会福祉協議会モチベーションマネジメント研修
- ・みどり市福祉部連絡会研修レクリエーション講座

【ボランティア育成支援関係】

- ・ 令和4年度 みどり市防災訓練
- ・ 協働型災害ボランティアセンター設置訓練
- ・ 令和4年度協働型災害ボランティアセンター運営研修
- ・ 群馬県災害福祉支援ネットワークセミナーⅠ
- ・ 令和4年度桐生市・みどり市地域防災研修会「感染症を踏まえた避難所設営研修」(Web開催)
- ・ ぐんまボランティアフォーラム「ボランティア活動のこれから」(Web開催)
- ・ 市町村団体対象奉仕員研修会(音訳)(Web開催)
- ・ ボランティア保険説明会

【児童福祉・福祉教育関係】

- ・ 放課後児童支援員認定資格研修
- ・ 放課後児童支援員資質向上研修
- ・ 令和4年度認知症キャラバン・メイト養成研修
- ・ 福祉教育セミナー (Web開催)

【援護関係】

- ・ 令和4年度生活困窮者自立相談支援機関情報交換会
- ・ 令和4年度生活困窮者自立支援制度におけるブロック研修会 (Web開催)
- ・ 令和4年度生活困窮者自立支援制度人材養成研修(Web開催)
- ・ 令和4年度群馬県難病就労研修会(Web開催)
- ・ 令和4年度生活困窮者自立支援制度講演会
- ・ 桐生地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会

【生活福祉資金関係】

- ・ 生活福祉資金貸付事業担当者研修会(Web開催)
- ・ 第1回生活福祉資金貸付事業 市町村社協事務局長会議 (Web開催)
- ・ 第2回生活福祉資金貸付事業 市町村社協事務局長会議 (Web開催)

【介護事業関係】

- ・ 桐生、みどり地区認知症対応力向上研修会
- ・ 群馬県認知症疾患医療センター研修会
- ・ 令和4年度介護保険苦情処理研修会
- ・ ケアマネジャー研修会 (Web開催)

【地域包括支援センター】

- ・ みどり市地域包括支援センター運営協議会
- ・ みどり市地域ケア推進会議
- ・ みどり市高齢者虐待対応・認知症高齢者支援ネットワーク推進会議
- ・ みどり市認知症初期集中支援チーム検討委員会
- ・ 自立支援型地域ケア個別会議
- ・ 市保健福祉部との事務連絡会
- ・ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に関する打ち合わせ会議
- ・ 在宅医療・介護連携センター運営会議
- ・ 退院調整ルール情報交換会 (Web開催)
- ・ 出前講座カリキュラム策定ワーキンググループ(エンディングノート関連) (Web開催)
- ・ 在宅医療・介護連携センターきりゅうとの打ち合わせ会議
- ・ 地域医療懇談会(桐生協立診療所主催) (Web開催)

- ・ ケアプランデータ連携システム説明会
- ・ ワイズマン説明会(ケアプランデータ連携システム関係)
- ・ 桐生地域リハビリテーション推進協議会・実務担当者会議 (Web開催)
- ・ 主任介護支援専門員更新研修 (Web開催)
- ・ 終活カウンセラー2級研修 (Web開催)
- ・ 群馬県認知症疾患医療センター(日新病院)研修会 (Web開催)
- ・ 「権利擁護支援モデル事業」説明会 (Web開催)
- ・ 地域医療勉強会－急変対応－(桐生厚生総合病院) (Web開催)
- ・ 群馬県認知症疾患医療センター(群馬大学医学部附属病院)研修会 (Web開催)
- ・ 在宅医療・介護連携推進事業研修会 (Web開催)
- ・ 地域包括ケアシステムにおける多職種連携研修会 (Web開催)
- ・ 地域包括支援センター職員基礎研修 (Web開催)
- ・ チームオレンジ・コーディネーター研修 (Web開催)
- ・ みどり市認知症サポーターステップアップ研修(連携センターきりゅう主催)
- ・ アドバンスド・ケア・プランニング出前講座(見学)
- ・ 権利擁護支援シンポジウム (Web開催)
- ・ みどり市高齢者虐待防止講演会
- ・ 認知症の人の意思決定支援ガイドライン研修
- ・ 特殊詐欺被害防止対策講座「NO！詐欺キーパー講座」 (Web開催)
- ・ 介護・看護合同学習会(Web開催)
- ・ 福祉マネジメント力を高める研修 テーマⅠ「組織マネジメント研修」(Web開催)
- ・ 福祉マネジメント力を高める研修 テーマⅢ「広報研修」(Web開催)
- ・ 地域包括ケア担当職員セミナー (Web開催)

【障害者福祉センター】

- ・ 令和4年度相談支援従事者初任者研修
- ・ 令和4年度相談支援従事者主任研修
- ・ 相談支援事業所職員メンタルヘルス研修
- ・ 賃貸住宅入居支援セミナー
- ・ 食品衛生責任者実務講習会
- ・ 強度行動障害の理解のための研修(Web開催)
- ・ 障害者等虐待防止研修(Web開催)

・ パソコンを使用し、インターネット上で講座を受講したものはWeb (※6) 開催と記載。

※6 World Wide Webの略。インターネットを介して、様々なデータの閲覧・公開を可能にするシステムのこと。

7 広報・啓発・連絡調整及び発信方法等に関する研究

(1) 社協広報紙「みどり市社協だより」の発行

本会の事業及び福祉情報を掲載し、写真・イラストを多く使うことで、見やすく分かりやすい紙面づくりに努めた。また、社協だよりをホームページ上に公開し、市民に広く周知できるように取り組んだ。

	発行日	発行部数
第 63 号	令和 4 年 7 月 5 日	19,300 部
第 64 号	〃 9 月 5 日	19,300 部
第 65 号	〃 12 月 5 日	19,300 部
第 66 号	令和 5 年 3 月 3 日	19,300 部

(2) ホームページによる情報発信

ホームページのリニューアル及びSNSの開設を行い、タイムリーな情報を分かりやすく届けられるよう努めた。また、各種事業でQRコードを活用したWebからの申し込み方法を追加導入したことで24時間申し込みを受け付けることができるようになり、市民の利便性を高めることができた。

(3) 各施設における広報啓発活動の推進

写真等を活用し、児童の様子や活動紹介など分かりやすく情報提供を行うことで、施設の理解を深め、円滑な運営につながるよう努めた。

① 笠懸小学童クラブ

「笠懸小学童クラブだより」(月刊)の発行 全 12 回

② 笠懸西小学童クラブ

「笠懸西小学童クラブだより」(月刊)の発行 全 12 回

③ 笠懸東小学童クラブ

「笠懸東小学童クラブだより」(月刊)の発行 全 12 回

(4) 各種事業における周知・啓発

市広報紙や新聞等を活用して、市民向け講座の募集記事や各種事業案内等を実施した。また、SNSによる発信での周知にも努めた。

【市広報紙掲載】

令和4年6月号	親子ふれあい交流事業 (レクリエーション)	参加者募集記事
8月号	家族介護者交流事業 リフレッシュサロン	参加者募集記事
9月号	①敬老旅行	参加者募集記事
	②みどり市母子寡婦会主催ボウリング大会	参加者募集記事
10月号	赤い羽根共同募金	協力依頼記事
11月号	①ひとり親家庭歳等歳末日帰り旅行	参加者募集
	②子育て支援品贈呈事業申込募集記事	
	③親子ふれあい交流事業(クリスマスケーキづくり)	参加者募集記事
12月号	①歳末地域歳末たすけあい募金	協力依頼記事
	②災害ボランティア養成講座	受講生募集記事
令和5年1月号	①家族介護者交流事業 リフレッシュサロン	参加者募集記事
	②手話体験教室	参加者募集記事
	③朗読奉仕員養成講座	受講生募集記事
2月号	①笠懸老人憩の家 高齢者教養講座	参加者募集記事
	②若年ひとり親家庭等の集い (ボッチャ交流会)	参加者募集記事
	③心身障害者療育訓練	参加者募集記事
	④生活支援員養成講座	参加者募集記事
3月号	赤い羽根・歳末募金実績報告・協力お礼記事	

○毎号掲載	無料相談コーナー ・心配ごと相談 ・法律相談 (弁護士相談) 介護予防教室
-------	--

【その他】

桐生タイムス・日刊きりゅう・上毛新聞(シャトル)

- ・朗読奉仕員養成講座 受講生募集記事
- ・災害ボランティア養成講座 受講者募集記事

(5) その他

①機関紙「福祉ぐんま」（発行：群馬県社会福祉協議会）の配布
年4回（4月・8月・10月・2月）

②社協公式SNS（ツイッター）による周知

本会の事業等について、適宜社協公式SNS（ツイッター）を通じて情報を発信した。

③社協パンフレット

社協とはこういった団体なのかを市民に周知するためのパンフレットを作成し、必要に応じて配布できる体制を整えた。

8 会計経理等の正確かつ適正な運用

会計経理について複数人で確認するなどの内部けん制により正確かつ適正な運用に努めたほか、インボイス制度の施行に向けた研修への参加や準備を進めた。

9 財政基盤及び組織体制の強化

介護事業所の統合により効率的な運営を図れるよう会計区分を整理した。

10 地域福祉推進のための調査・研究

各種事業で参加者等を対象としたアンケートを実施し、事業の改善や住民ニーズの把握に努めた。

11 県内社会福祉協議会との連携

(1) 近隣社協との連携

日常生活自立支援事業の事務移管に関する事など、桐生市社協と情報交換を行った。また、法人連絡会に関する研修会等に参加することで、近隣社協との情報共有に努めた。

■ 地域福祉事業

(成果)

- 1 日常生活自立支援事業では、基幹社協化と利用者の引き継ぎを円滑に進めることができた。
- 2 市民活動支援用具貸出事業では、軽スポーツ用具以外の用具貸し出しを開始したことの周知活動を強化した結果、市民団体の利用が大幅に増加した。

(課題)

- 1 日常生活自立支援事業では新規利用者が増加傾向にあるため、専門員の増員も視野に入れた体制について検討する必要がある。
- 2 心配ごと相談事業では、弁護士への専門的な相談の申し込みが定員を上回っているため、希望者の実態を把握し受け入れ体制の見直しを検討する必要がある。
- 3 新型コロナの影響で地域住民主体の福祉活動が停滞したため、先進地域や他市町村等の取り組みを把握し、今まで以上に情報提供を強化する必要がある。

1 みどり市地域福祉活動計画に基づく地域福祉活動の実践

地域の実情や様々なニーズに応じて「みんなが輝く どんなときも支え合える理想のまち」を基本理念とし4つの基本目標を設定し事業を展開した。災害についてや福祉教育に着目した事業の展開等、新たな取り組みとして実践した事業もあった。

2 日常生活自立支援事業

桐生市社協及び県社協の支援・指導のもと、令和4年度からの自主運営に伴う事務手続きをスムーズに行うことができた。困難ケースについて、桐生市社協と連携し半年ほどかけて段階的に移管をすることができた。また、生活支援員養成講座を実施し支援員を増員できた。

地区	当年度末利用実人数		生活支援員総数	従事生活支援員数
笠懸	認知症高齢者	5名(±0)	32名(+3)	13名(+1)
	知的障がい者	7名(±0)		
	精神障がい者	6名(+1)		
大間々	認知症高齢者	0名(±0)	56名(+4)	5名(±0)
	知的障がい者	3名(+1)		
	精神障がい者	8名(+1)		
東	認知症高齢者	0名(±0)	5名(±0)	1名(-1)
	知的障がい者	1名(±0)		
	精神障がい者	0名(-3)		
その他 (市外)	認知症高齢者	0名(±0)	0名(±0)	0名(±0)
	知的障がい者	1名(+1)		
	精神障がい者	0名(±0)		
合計		31名(+1)	93名(+7)	19名(±0)

3 群馬県ふくし総合相談支援事業への参画

県内の社会福祉法人施設や関係機関と連携・協働し、生活のしづらさを抱えた地域住民を包括的に支援し、地域における様々な地域課題及び生活課題に対応していくために、会議や研修会に参加した。

4 地域の福祉活動への支援

(1) 地域福祉活動推進事業

地域内において、住民参加により主体的に取り組む地域福祉活動の推進を図られることを目的に、行政区を単位として、地区活動の紹介や情報共有を図ることで、地域が活性化できるような支援を行った。見守り活動や世代間交流、各種スポーツ大会等を行う地区もみられた。

実施地区	市内各行政区（全32区）
実施主体	行政区
協力機関	区長、民生委員、福祉部、婦人会、各種団体

5 各種福祉団体県大会等参加支援事業

参加者の社会参加の促進と安全確保を目的として社会福祉団体が県大会等に参加するための貸切バスを借り上げて支援した。中止になった事業もあったが、申請団体に対して支援することができた。

支援先	支援件数
みどり市身障者連盟	2件(+1)
みどり市老人クラブ連合会	2件(+2)

6 心配ごと相談事業

市民のあらゆる心配ごととの相談に応じ、適切な助言指導を行った。また、定期的に弁護士相談を行うことで、専門的な相談も対応することができた。

さらに、心配ごと相談員向けに研修会を開催することで、資質向上と相談業務に役立てることができた。

地区	一般相談		弁護士相談	
	開設日数	相談件数	開設日数	相談件数
笠懸	23日(+3)	54件(-11)	8日(+1)	47件(+13)
大間々	8日(+1)	5件(-5)	4日(+1)	28件(+9)
東	12日(+1)	2件(-1)	2日(±0)	7件(-2)
合計	43日(+5)	61件(-17)	14日(+2)	82件(+20)

心配ごと相談員研修会

期 日	令和4年10月28日
会 場	みどり市立厚生会館
受講者数	23名(-12)
研修内容	事例に基づく相談援助技術の習得と演習

7 入れ歯リサイクル事業

地域福祉活動の財源確保と環境改善活動を推進することを目的に、福祉貢献事業として、使わなくなった入れ歯を回収した。

入れ歯回収個数	8 個 (-64)
宝飾品回収件数	0 件 (±0)
ユニセフ回収量	123 g (-602)
回収益金	44,987 円 (+1,118)

※回収益金は、令和3年度と令和4年度の分が合算して振り込まれたため、上記の金額となっている。

8 市民活動支援用具貸出事業

住民の交流活動を推進するため軽スポーツ用具のみでなく、イベント用の立て看板、プロジェクター等の貸出実績もあった。

貸出先	貸出件数
社会福祉施設	5 件 (-7)
各種団体	34 件 (+32)

9 福祉体験用具等貸出事業

学校の総合学習等で活用できるよう福祉体験用具をみどり市内の小中学校・小中一貫校に貸し出した。また、もみじ箱を2箱新調し、貸し出し体制を整えた。

貸出先	貸出件数
小学校	8 件 (+1)
中学校	0 件 (±0)
小中一貫校	1 件 (+1)
その他	1 件 (+1)

10 社会を明るくする運動への協力

罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行の防止と立ち直りを支える社会づくりを推進することを目的とした社会を明るくする運動の推進に協力した。

市民集会は中止となったが、更生保護メッセージ伝達式に出席した。また、のぼり旗及びポスターの掲示並びに市広報紙等による啓発活動に協力した。

主催	みどり市社会を明るくする運動推進委員会
期間	令和4年7月1日～7月31日（強調月間）
内容	更生保護メッセージ伝達式、のぼり旗・ポスターの掲示

11 区長会、民生委員児童委員協議会、福祉部との連携協力

区長会へ出席し、社協会費と共同募金及び歳末たすけあい募金の協力依頼を行った。また、敬老行事地区事業や地域福祉活動推進事業の説明を行い、区長会、福祉部、民生委員等と連携しおせち配食等の福祉活動に協力を得られた。

12 各種福祉団体への活動支援

事業実施に伴い、団体役員をはじめ会員と連携・協力することができた。

■ ボランティア育成支援事業

(成果)

- 1 災害ボランティアセンターの設置・運営に関する協定をみどり市との間で締結し、被災時に円滑かつ迅速に支援活動を開始する準備を進めることができた。
- 2 みどり市の防災訓練に初めて参画し、災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を実施することができた。
- 3 県外被災地に設置された災害ボランティアセンターの支援等に参加し、職員が運営の一部を担うことでみどり市における設置・運営マニュアルの見直しに役立てることができた。
- 4 社協だよりでこれまで取り上げられていないボランティア活動を紹介し、仲間づくりに貢献することができた。

(課題)

- 1 新型コロナの影響で2つのボランティア団体が解散に至り、会員増強並びに世代交代などへの支援が一層必要である。
- 2 ボランティアセンターに登録する個人・団体数が増えず、低い水準が続いている。
- 3 ボランティアの育成に併せ、育成したボランティアの活動の場を提供できるように情報収集と積極的な受け入れ体制を強化する必要がある。
- 4 災害に備えてみどり市内外の様々な分野の機関・団体との協力・連携関係を構築する必要がある。

1 善意銀行

市民から寄せられる善意に基づく金銭や物品を受け入れた。また、みどり市内の福祉施設へ預託品（タオル）の払い出し希望調査を行い、払い出しを実施した。また、ウクライナ避難民や養護施設等へ物品を払い出した。

現金	預託金額	1,228,075 円 (+824,838)
	預託件数	15 件 (-9)
物品	預託件数	33 件 (+11)
リサイクル品	使用済切手、使用済テレホンカード、プルトップ、ペットボトルキャップなどを随時受け付けた。	

2 ボランティアセンター

ボランティア活動を希望する人とボランティアを求めている個人・団体・施設・機関等との調整並びに橋渡しを行い、マッチングを行うことで、双方の継続的な活動を支援することができた。

内容	件数
ボランティア登録者	8 名 (+5)
ボランティア登録者団体	18 団体 (-2)
コーディネート	6 件 (+5)

3 災害ボランティアセンター

夏の豪雨で被災した市民の家屋復旧を支援したほか、みどり市の防災訓練にて災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施し、マニュアルを確認・修正した。また、災害被害を想定し備蓄用品等を揃え災害に備えた。県外（新潟県関川村・静岡県静岡市清水区）の災害支援として職員を派遣し、ボランティア側・運営側として協力するとともにその一部を担うことができた。県内他市の訓練にも積極的に参加し、見識の向上に努めた。

県外災害派遣内容

派遣先	新潟県関川村	静岡県静岡市清水区
派遣期間	令和4年9月1日～2日	令和4年10月21日～25日
派遣人数	2名	1名
派遣内容	ボランティア活動 家屋の片づけ・清掃・泥出し等	ボランティアセンター運営支援 資機材・車両班

4 ボランティア養成講座

平時からの教育機関との連携構築と、学生たちがボランティア活動を始めきっかけづくりを目的とした講座を企画した。また、災害ボランティアの育成を目的とした一般市民向けの災害ボランティア養成講座を企画した。開催後は、災害のみならずボランティア活動に積極的に参加するなどの一定の成果が得られた。

(1) 『災害が起きたらどうする！？』 県立大間々高等学校・桐生大学連携講座

	期 日	会 場	受講者数
第1回	令和4年8月9日	みどり市立厚生会館	延 18名 (+18)
第2回	令和4年8月17日	栃木県防災館	
第3回	令和4年8月24日	みどり市立厚生会館	

(2) 災害ボランティア養成講座

期 日	令和5年1月15日
会 場	みどり市立厚生会館
受講者数	14名 (+14)

5 ボランティア活動保険等の取り扱い

ボランティア活動の推進を図るため、ボランティア活動中の不慮の事故や賠償責任等に備えた保険制度の取扱事務を行った。令和4年度は、活動中の事故が数件発生し、改めて保険の必要性を周知することができた。

取り扱い内容	受付件数(追加・変更含む)	事故件数
ボランティア活動保険	30件 (+3)	1件 (+1)
ボランティア行事用保険	41件 (-5)	0件 (±0)
福祉サービス総合補償	7件 (-5)	2件 (+2)

6 ボランティア団体等活動支援

ボランティア連絡協議会をはじめ、ボランティア活動団体の運営及び活動を支援した。また、市民から寄せられた寄附物品をボランティア団体へ払い出すこともできた。

■ 在宅福祉事業

(成果)

- 1 在宅福祉センターが新設されたことにより、在宅福祉等に関する相談対応が円滑になり、住民福祉に役立つことができた。それに伴って、当該相談窓口への来所者（住民や福祉関係者等）が増加した。
- 2 安心支援事業において、通院付添支援が再開されたことで利用者ニーズに応えることができた。それに伴い、利用者の増加につながった。

(課題)

- 1 安心支援事業において、通院付添支援が再開となったが、支援依頼に対して対応できるサポーターが不足している状況がある。また、サポーターの年齢層が高いこともあり、若い年齢層のサポーターの獲得や、そのための周知啓発が課題である。
- 2 東地区におけるひとり暮らし高齢者等配食サービス事業において、利用者及び利用実績の減少、配食ボランティアや調理スタッフの人材不足、原材料や燃料費等のコスト上昇等により現行の実施方法では事業継続が困難になりつつある。外部委託を検討しても対応できる業者が見つからない状況もあるため、今後の事業継続が危惧される。
- 3 寝たきり高齢者理容サービス事業において、利用者及び協力店の減少、組合の解散、協力店の組合からの離脱等の状況がある。人々の生活環境や生活様式の変化・多様化によりニーズも変化しており、今後も事業継続するのであれば実施体制の見直しが必要な時期に来ていると思われる。

1 安心支援事業【受託事業】

みどり市内の65歳以上の在宅高齢者を対象に地域で安心して生活できることを目的に、日常生活でのちょっとした困りごとのお手伝いとして有償ボランティアによる事業を実施した。休止中だった通院付添支援が再開したことや、事業案内を広報に掲載したことにより、全体的に増加傾向となった。

地 区	利用登録者数 (累計)	サポーター登 録者数	年間コーデ ィネット数
笠 懸	84 名 (+11)	39 名 (+2)	34 組 (+23)
大間々	93 名 (+28)	45 名 (+8)	
東	9 名 (+1)	5 名 (+1)	
合 計	186 名 (+40)	89 名 (+11)	

2 在宅高齢者支援機関運営事業【受託事業】

在宅高齢者の生活を支援するため、サービスの調整や実態把握を通じて高齢者やその介護者からの総合的な相談に応じ、各種サービスの利用や連絡調整等の支援を行った。延相談件数は減少したが、在宅福祉センターが新設されたことにより、地域包括支援センターとの連携がより円滑となり、実態把握件数の増加につながった。

地 区	延相談件数	実態把握調査件数
笠 懸	653 件 (-515)	353 件 (+172)
大間々	530 件 (-142)	220 件 (+13)
東	581 件 (+123)	90 件 (+5)
合 計	1,764 件 (-534)	663 件 (+190)

3 配食サービス事業【受託事業】

在宅におけるひとり暮らし高齢者または高齢者世帯を対象に、食生活の改善や見守り支援を目的として配食サービスを行った。新規利用者数は若干増加したが、入院や施設利用等による休止または廃止もあり、延配食数は減少した。

地区	配食日	実利用者数	実施回数	延配食数
笠懸	月・木曜日	15名(+5)	104回(-1)	563食(-190)
大間々	月・木曜日	16名(+4)	104回(-1)	1,102食(-6)
東	火・金曜日	12名(+1)	99回(±0)	643食(-285)
合計		43名(+10)	307回(-2)	2,308食(-481)

4 寝たきり高齢者理容サービス事業【受託事業】

在宅で生活している寝たきり高齢者に対し、衛生的で快適な生活を維持する目的でみどり市内の理容店の協力を得て訪問理容サービス(頭髪カット)を実施した。対象者の減少と併せてサービス利用実績も減少した。

理容サービス券交付者数	理容サービス券支給枚数
22名(-2)	80枚(-10)
理容サービス券実使用者数	理容サービス券実使用枚数
11名(-2)	22枚(-14)

5 福祉車両貸出事業

(1) 在宅生活支援

在宅での生活に支障があり、介護(一時的な傷病も含む)で必要とする地域住民(高齢者・障がい者・子ども)に対して車椅子のまま乗車可能な専用車両を貸し出した。昨年度、ほぼ定期的に利用していた利用(対象)者が入院や体調不良等の理由で利用しなくなったため、利用実績は減少した。

地区	延利用者数	延貸出日数
笠懸	25名(-26)	57日(-11)
大間々	19名(-5)	27日(-7)
東	3名(+1)	6日(+2)
合計	47名(-30)	90日(-16)

(2) 安心支援(安心支援事業利用者への貸し出し)

サポーターによる付添支援のための専用車両を貸し出した。年度途中より、通院付添支援が再開したため、利用者数、貸出日数とも大幅に増加した。

地区	延利用者数	延貸出日数
笠懸	37名(+27)	37日(+27)
大間々	169名(+152)	169日(+152)
合計	206名(+179)	206日(+179)

6 日常生活用具貸出事業

在宅の重度障がい児・者や寝たきり高齢者及び怪我等で生活に支障がある人を対象に、家族等の介護負担軽減や在宅生活の自立支援を図ることを目的として介護用ベッドや車椅子を貸し出した。現状は、介護保険の福祉用具レンタルサービスを優先利用としているため、介護ベッド貸し出しの利用は少ない。車椅子貸し出しは、通院や一時外出目的の短期(1週間以内)貸出利用が主となっている。

貸出品	地区			貸出合計件数
	笠懸	大間々	東	
ギャッジベッド	0件(±0)	0件(±0)	0件(±0)	0件(±0)
電動ベッド	1件(±0)	0件(±0)	0件(±0)	1件(±0)
車椅子	13件(+2)	9件(-9)	3件(-1)	25件(-8)

7 家族介護者交流事業【受託事業】

在宅で高齢者等を介護する介護者に対し、日々の介護疲れを癒し参加者相互の親睦・情報交換やリフレッシュのため、相談や適切な助言指導を行った。また、参加対象者の適正化により、参加者数は減少した。

期 日	会 場	参加者数
令和4年9月13日	みどり市多世代交流館	3名(-1)
令和5年2月1日	近藤農園・笠懸保健センター	5名(-4)

8 思いやり駐車場利用証制度への協力

障がい者用駐車場の適正利用のため、対象となる申請者へ利用証の交付事務等を行った。毎年申請のある妊産婦の申請が無く、全体として申請数が減少した。

区分	地区			合計
	笠懸	大間々	東	
身体障がい者	1名(+1)	0名(-1)	0名(-1)	1名(-1)
知的障がい者	0名(±0)	0名(±0)	0名(±0)	0名(±0)
精神障がい者	1名(+1)	0名(±0)	0名(±0)	1名(+1)
高 齢 者	1名(-2)	2名(+2)	0名(-1)	3名(-1)
難 病 患 者	0名(±0)	0名(±0)	0名(±0)	0名(±0)
妊 産 婦	0名(-6)	0名(-1)	0名(±0)	0名(-7)
合 計	3名(-6)	2名(±0)	0名(-2)	5名(-8)

■ 高齢者福祉事業

(成果)

- 1 みどり市に対してみどり市老人クラブ連合会の補助金申請における様式の見直しを提案した結果、様式が簡略化されみどり市老人クラブ連合会の書類作成の負担を軽減することができた。
- 2 生活支援体制整備事業において、当該事業の実施体制強化のため、地域包括支援センター全職員が第2層協議体に参加することができた。

(課題)

- 1 敬老旅行参加申込者が少なく、最少催行人数に満たず中止となった。みどり市老人クラブ連合会の意向を参考に、実施方法や参加費等を見直す必要がある。
- 2 生活支援体制整備事業における第2層協議体が、令和4年度途中から再開したが、開催回数が少ないこともあり、第1層協議体の開催には至らなかった。

1 地域包括支援センター事業【受託事業】

総合相談支援業務、権利擁護業務（認知症高齢者支援、高齢者虐待対応、成年後見制度申し立て支援）、包括的・継続的ケアマネジメント業務（関係機関との連携体制構築支援、介護支援専門員等のサポート、支援困難ケースへの支援、地域ケア会議の活用）等、適宜必要な援助及び支援を行った。また、関係機関・団体等と共に、在宅医療と介護連携の推進、生活支援体制整備事業、認知症総合支援事業等へ連携・協力した。

その内、生活支援体制整備事業においては、当該事業の実施体制強化のため、地域包括支援センター全職員が第2層協議体に参加することとした。

指定介護予防支援事業及び介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）については、関係法令やみどり市の方針に基づき、適切に利用対象者に対してサービス提供するとともに、その業務の一部を指定居宅介護支援事業所に委託した。

(1) 介護予防支援業務実績数（一部委託を含む）

	延実績数	金額
笠懸	2,122 件 (-82)	9,675,360 円 (-205,560)
大間々	2,629 件 (+501)	10,779,120 円 (+974,000)
東	317 件 (-18)	1,403,460 円 (-119,440)
合計	5,068 件 (+401)	21,857,940 円 (+649,000)

(2) 相談方法

	笠懸	大間々	東	計
来所	221 件 (+52)	226 件 (+35)	97 件 (-38)	544 件 (+49)
訪問	484 件 (-179)	418 件 (+8)	140 件 (+23)	1,042 件 (-148)
電話	1,802 件 (-109)	1,438 件 (+188)	482 件 (+145)	3,722 件 (+224)
その他	110 件 (+101)	109 件 (+44)	157 件 (+11)	376 件 (+156)
合計	2,617 件 (-135)	2,191 件 (+275)	876 件 (+141)	5,684 件 (+281)

(3) 相談内容

	笠懸	大間々	東	計
介護保険サービス関係	1,442件(+84)	1,252件(+91)	514件(+118)	3,208件(+293)
高齢者福祉サービス関係	46件(-41)	123件(+56)	55件(+9)	224件(+24)
医療関係	211件(-20)	133件(-3)	97件(+4)	441件(-19)
認知症関係	212件(-259)	233件(+127)	27件(+13)	472件(-119)
成年後見	16件(+8)	16件(-14)	0件(±0)	32件(-6)
措置	4件(-33)	8件(+7)	0件(±0)	12件(-26)
日常生活自立支援	13件(+2)	14件(+7)	0件(±0)	27件(+9)
高齢者虐待	7件(-9)	39件(+6)	12件(+9)	58件(+6)
困難事例	36件(-75)	1件(-20)	18件(-7)	55件(-102)
消費者被害	3件(+2)	0件(-18)	1件(+1)	4件(-15)
その他	627件(+206)	372件(+36)	152件(-6)	1,151件(+236)
合計(延)	2,617件(-135)	2,191件(+275)	876件(+141)	5,684件(+281)

2 生活支援体制整備事業【受託事業】

約2年間、休止状態となっていた第2層協議体は全地区で活動が再開した。取組み状況は地区ごとに前回のふりかえりからテーマに沿った協議を進め、継続的かつ関連的な意見交換の場となった。また、第2層協議体再開から半年足らずのため、第1層協議体の実施には至らなかった。

(1) 第2層協議体活動経過

①笠懸地区 会場：笠懸保健センター

回数	期日	出席人数	主な検討テーマ
第1回	令和4年10月24日	16名	資源マップ表紙について、他
第2回	令和4年11月21日	12名	資源マップの活用方法、他
第3回	令和5年1月27日	15名	資源マップのページ修正、他
第4回	令和5年2月20日	13名	資源マップ全体(現状)の確認、他
第5回	令和5年3月29日	11名	資源マップ対象者について、他

②大間々地区 会場：みどり市社協 大間々支所

回数	期日	出席人数	主な検討テーマ
第1回	令和4年10月18日	13名	地区の現状、意見交換、他
第2回	令和4年11月16日	12名	見守り対象者や認知症について、他
第3回	令和5年1月25日	13名	認知症チラシ作成について、他
第4回	令和5年2月22日	13名	認知症チラシ作成について、他

③東地区 会場：みどり市社協 東支所

回数	期日	出席人数	主な検討テーマ
第1回	令和4年10月31日	13名	地区の現状、意見交換、他
第2回	令和4年11月28日	9名	安心支援事業について、他
第3回	令和5年1月30日	9名	東町の良い所など、他
第4回	令和5年2月27日	9名	東町の気になるところ、他
第5回	令和5年3月27日	9名	東町の買い物について、他

(2) 第1層協議体活動経過

- ・実施なし

3 介護予防普及啓発事業【受託事業】

地域で暮らす高齢者が生涯を通じ自立して暮らせるよう、要支援・要介護状態にならないための効果的な予防活動に取り組んだ。各地区でのサロン実施前に、できるだけ地区を訪問し、声掛け・状況把握に努め、広報紙掲載・行政区役員・民生委員等との連携強化で参加者増加につながった。

地 区	実施回数	延参加者数
笠 懸	50 回 (+28)	608 名 (+383)
大間々	54 回 (+32)	644 名 (+420)
東	60 回 (+40)	340 名 (+225)
合 計	164 回 (+100)	1,592 名 (+1,028)

4 敬老旅行事業【受託事業】

実施方法を変更し日帰り旅行として企画したが、申込数が少なく実施に至らなかった。

期 日	中止
方 面	
宿泊場所	
参加者総数	0 名 (±0)

5 敬老行事地区事業

地域住民が高齢者とのふれあいを通じ、地域における高齢者の見守りネットワークづくり推進や地域組織化を目的に活動を支援した。

対象者	概ね80歳以上の高齢者
補助対象者数	4,516 名 (+179)
実施地区	みどり市内各行政区 (全32区)
実施主体	行政区
協力機関	民生委員、福祉部、婦人会、各種団体等

6 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業【受託事業】

みどり市老人クラブ連合会と共催の各種スポーツ大会や、笠懸老人憩の家、老人福祉センターでの事業は中止するものもあったが、前年度よりも多くの事業を実施することができた。

(1) 市老人クラブ連合会 各種スポーツ大会

種目	実施期日	会場	参加者数
グラウンドゴルフ大会	令和4年6月10日	あすかホールグラウンドゴルフ場	119 名 (±0)
ゲートボール大会	中止		0 名 (±0)
スマイルボウリング大会	令和4年6月22日	東社会体育館	70 名 (+1)
輪投げ大会	令和4年9月22日	桐生大学グリーンアリーナ	50 名 (-26)
新卓球大会	令和4年10月14日	桐生大学グリーンアリーナ	37 名 (+37)

(2) 笠懸老人憩の家

実施内容	実施回数	参加者数
カラオケ大会	2 回 (+2)	延 41 名 (+41)
教養講座	2 回 (+2)	延 36 名 (+36)
高齢者談話室(茶話会)	12 回 (+10)	延 81 名 (+51)

(3) 老人福祉センター

実施内容	実施回数	参加者数
バンパープール大会	中止 (±0)	0名 (±0)
健康マージャン大会	中止 (±0)	延 0名 (±0)
将棋大会	中止 (±0)	0名 (±0)
ボッチャ大会	1回 (+1)	延 18名 (+18)
まごころ♪のど自慢	1回 (+1)	延 19名 (+19)
ビニールバンド講座	38回 (+38)	延 165名 (+165)
健康マージャン講座	中止 (±0)	延 0名 (±0)
新卓球講座	中止 (±0)	延 0名 (±0)
ソープカービング講座	中止 (±0)	延 0名 (±0)
ボッチャ講座	2回 (+2)	延 36名 (+36)

(4) 大間々老人憩の家

実施内容	実施回数	参加者数
茶話会	中止 (±0)	0名 (±0)
カラオケ大会	中止 (±0)	延 0名 (±0)
教養講座	中止 (±0)	延 0名 (±0)

7 ひとり暮らし高齢者交流事業【受託事業】

会食を伴う交流事業のため関係協力団体と協議し実施を取りやめた。

期 日	中止
会 場	
参加者数	

■ 障がい者福祉事業

(成果)

- 1 障害者意思疎通支援事業において、手話通訳者等の派遣を希望するろう者の負担軽減を図るため、これまでの申請方法に加えてWebを活用した新たな申請方法を導入した。

(課題)

- 1 笠懸公民館の障がい者喫茶室「ぺちやくちゃ」の運営支援においては、売上の減少と運営の担い手不足により安定的な経営を継続することが困難な状況にある。
- 2 ボランティアによる朗読録音活動の休止に伴い、視覚障がい者への広報紙等の録音図書の貸し出しが休止されているため、情報提供を再開できるようにボランティアと連携して録音活動の見直しを進める必要がある。

1 障害者福祉センターの運営

(1) 地域活動支援センター【受託事業】

利用者が地域において自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、創作的活動及び生産活動の機会を提供した。喫茶ぺちやくちゃの運営を通じて地域との交流を図ることができたが、ぺちやくちゃの営業日数の減少とつばさまつりの中止で、地域との交流を思いどおりに行うことができなかった。

(2) 障害者デイサービスセンター【受託事業】

重度心身障がい者の通所の場合として、養護、生活支援、日常動作訓練、食事、送迎、入浴サービスを行い、地域生活を支援するとともに、介護を行う家族の負担軽減を図った。安全対策を最優先にサービス継続に努めた。

(3) 相談支援事業所（相談支援事業）【一部受託事業】

障がい児・者の基本的な相談に応じるとともに、サービス等利用計画作成のための相談、障害支援区分認定調査業務などを行った。より迅速な相談対応と円滑な支援のため主任相談支援専門員の配置、相談支援設備の充実を図った。

①年間相談（支援）件数と計画相談等介護報酬

年間相談（支援）件数	延 3,780 件 (+786)
計画相談等介護報酬他	3,986,780 円 (-579,470)

②相談支援を利用している障がい者等の人数

	実利用人数	実利用人数の障がいの内訳						その他
		身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	
障がい者	149 名	15	0	29	97	17	2	2
障がい児	5 名	0	0	0	0	4	0	1
合計 (前年比)	154 名 (+11)	15 (+2)	0 (±0)	29 (+5)	97 (+4)	21 (+2)	2 (-1)	3 (+1)

(内、11名は障がいの重複あり)

③支援方法

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
件数	543 (+108)	147 (+72)	164 (+20)	635 (+88)	222 (+77)	26 (+11)	1,979 (+416)	64 (-6)	3,780 件 (+786)

④支援内容（重複あり）

内容	件数
福祉サービスの利用等に関する支援	2,179 件 (+335)
障がいや病状の理解に関する支援	13 件 (+9)
健康・医療に関する支援	573 件 (+174)
不安の解消・情緒安定に関する支援	70 件 (+30)
保育・教育に関する支援	159 件 (+115)
家族関係・人間関係に関する支援	68 件 (+26)
家計・経済に関する支援	319 件 (+73)
生活技術に関する支援	88 件 (+48)
就労に関する支援	169 件 (+114)
社会参加・余暇活動に関する支援	37 件 (+31)
権利擁護に関する支援	266 件 (+18)
その他	662 件 (+330)
合計	4,603 件 (+1303)

2 障害者意思疎通支援事業（手話言語普及推進事業） 【受託事業】

ろう者の日常生活等の意思疎通を円滑にする目的から手話通訳者派遣の調整を実施した。みどり市内のろう者に加え、ウクライナからの避難民ろう者の利用と、避難民ろう者を支援するためのイベント等の開催により派遣人数が前年度より増加した。

派遣内容	派遣人数	利用者数	
		団体	個人
手話通訳者派遣	227名 (+15)	4団体 (+1)	7名 (-1)
要約筆記者派遣	0名 (±0)	0団体 (±0)	0名 (±0)

3 障害者意思疎通支援奉仕員養成講座 【受託事業】

手話講習会は令和2、3年度の開催が中止となったことから、基礎編は開催せず、令和元年度手話講習会受講者が基礎編に進むため入門編を再受講する形で実施した。朗読奉仕員養成講座は、朗読ボランティアの会員の受講もあり、令和5年度再開予定であった朗読奉仕活動に向けて準備をすることができた。

(1) 手話講習会 入門編

期 日	令和4年6月1日～10月26日 毎週水曜日 全21回
会 場	みどり市社協 本所
受講者数	13名 (+13)
修了者数	10名 (+10)

(2) 手話講習会 基礎編

期 日	開催なし
-----	------

(3) 手話講習会 ステップアップ講座

期 日	令和4年11月9日、16日、30日（前半3回） 令和5年2月26日、3月1日、8日、15日（後半4回） 水曜日 全7回
会 場	みどり市社協 本所
受講者数	8名 (+8)
修了者数	7名 (+7)

(4) 手話講習会 体験教室

期 日	令和5年2月8日
会 場	みどり市社協 本所
参加者数	16名 (+4)

(5) 朗読奉仕員養成講座

期 日	令和5年2月13日～3月13日 毎週水曜日 全5回
会 場	みどり市立厚生会館
受講者数	6名 (+1)

4 心身障害者療育訓練事業【受託事業】

みどり市手をつなぐ育成会協力のもと、知的障がいのある人とその保護者を対象として、いちご狩り体験やフラワーパーク散策を通じて社会参加の促進を図った。ホームページからも申し込みを受け付けたことで参加者の増員につながった。

期 日	令和5年3月11日
場 所	佐野観光農園アグリタウン、あしかがフラワーパーク
参加者数	16 世帯 40 名 (+40)

5 視覚障がい者等録音テープ貸出事業

朗読ボランティア会員全体へ活動再開に向けたアンケートを実施し、意見を集約することができた。また、活動に参加できる会員を集めた打ち合わせを行い、令和5年度から再開を予定できたことと録音方法をテープからパソコン編集で行っていくこととした。

利用者宅へ訪問し、パソコン編集後の再生機器が整っているかの確認やどのような情報提供を求めているか等の意見を聴取することができた。

実利用者数	貸出の内容	
0 名 (±0)	みどり市広報	0 回
	みどり市議会だより	0 回
	みどり市社協だより	0 回

6 福祉パレードへの協力

東毛エリアの取り組みを参考に式典に代わるものを検討していくこととなった。

期 日	令和4年9月6日
参加団体・機関等	中止

7 障がい者喫茶室「ぺちやくちゃ」の運営支援

喫茶スペースが設置してある、笠懸公民館が新型コロナワクチン接種の会場になっていたことにより、ほぼ休業になってしまったが、その中でも2日間営業することができた。

また、みどり市市民活動助成事業助成金を活用してアクリルパーテーション等を購入し、飛沫防止の衛生管理等を強化した。

開 店 日	令和4年6月5日・11月5日
年間運営日数	2 日 (-64)
従 事 者	6月5日…地域活動支援センター・みどり市身障者連盟 11月5日…みどり市身障者連盟
喫茶売上総額	21,300 円 (-118,200)

■ 児童福祉・福祉教育事業

(成果)

- 1 幼少期から認知症への理解を深めてもらえるように、令和5年度から新たに実施する小学生を対象とした認知症サポーター養成講座の講師を担うための研修に参加した。

(課題)

- 1 みどり市内の小中学校等を対象とした福祉教育のための助成金の未申請校がまだあり、有効活用いただくため、助成金活用例を提示していく必要がある。

1 児童健全育成活動

笠懸小学童クラブと笠懸西小学童クラブの運営を新たに開始し、笠懸東学童クラブとともに、児童健全育成活動を年間を通じて実施した。
児童同士の関わりや児童の安全に配慮し、円滑な運営になるよう様々な点に注意しながら活動した。

2 児童福祉週間の啓発協力

児童福祉週間(5/5～5/11)の啓発ポスターの掲示と啓発協力を行った。

3 学童・生徒の福祉教育推進活動

申請のあったみどり市内の小中学校及び小中一貫校に対して活動費を助成し、各学校の特色に合った福祉教育活動をサポートした。また、新規事業として令和5年度より実施する認知症サポーター小学生養成事業の準備を行った。

実施内容	小学校	中学校	小中一貫校
補助事業指定	4校(-2)	3校(±0)	1校(+1)
福祉教育の支援	0校(±0)	0校(-1)	0校(±0)

■ 母子寡婦福祉事業

(成果)

- 1 ひとり親家庭の交流事業の際に、ひとり親を対象とした支援施策等の情報提供を強化した。

(課題)

- 1 母子寡婦福祉団体の世代交代が進まず、若年層の会員の入会が進んでいない。団体活動の魅力を発信していく必要がある。

1 若年ひとり親家庭の組織化活動支援

ここ2年程会場が使用できず開催することができなかったが、令和4年度はようやく開催でき顔を見合わせて事業内容の検討等ができた。

年間活動日数	1回(+1)
延参加者数	保護者 3名(+3)
	児童等 3名(+3)

2 若年ひとり親家庭の集いの実施

安全に配慮し、バス旅行やバーベキュー交流会の代わりとして、みどり市でも盛んに行われているボッチャ交流会を実施した。

(1) 若年ひとり親家庭の集い

期 日	内 容	参加者数
令和5年3月25日	ボッチャ交流会	2世帯 5名 (-21)

■ 援護事業

(成果)

- 1 生活困窮者自立支援事業では、対象者に寄り添った支援を心がけ、積極的に世帯訪問や関係機関への同行を実施した。
- 2 増加した生活困窮者への一時的な支援ニーズに対し、法外援護による適切な経済的・フードバンクの活用による物的支援の実施に併せ、生活再建に必要な助言・指導を実施した。

(課題)

- 1 困窮世帯の中には障がいや家庭環境など複合的な課題を抱える人もいるため、みどり市が実施する重層的支援体制整備事業との連携を進める必要がある。

1 生活困窮者自立支援事業【受託事業】

生活困窮世帯が困窮状態から早期に脱却し、地域において自立した生活を営むことができるよう支援するため、関係機関との連携等により本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施した。また、離職等により経済的に困窮し、住居を喪失するおそれのある人に対しては住居及び就労機会の確保に向け、家賃相当額の金額を給付する住居確保給付金の申請受付事務を行った。

(1) 新規相談件数・支援件数・プラン作成件数

内容	件数
新規相談	46件 (-38)
支援申込	1件 (-2)
プラン作成※	5件 (±0)

※再プランを含む。

(2) 住居確保給付金

申請種別	申請受付件数	決定件数
新規申請	6件 (+3)	6件 (+3)
延長申請	0件 (-2)	0件 (-2)
再延長申請	0件 (±0)	0件 (±0)
再申請	0件 (±0)	0件 (±0)

2 法外援護費支給事業

法令の適用が困難で、緊急的かつ一時的な福祉的援護を必要とする世帯に対し、資金・物品を支給することで生計維持や生活再建を支援した。

(1) 資金

支給世帯数	支給総額
10 世帯 (+10)	419,000 円 (+419,000)

(2) 物品

支給世帯数	支給物品
7 世帯 (+6)	食料・日用品等

3 行路人貸付事業

行路人に対して住所地に向かうための最低限の援護資金を貸し付けた。

貸付件数	貸付総額
2 件 (+2)	1,000 円 (+1,000)

4 交通遺児就学援助金給付事業

交通事故による遺児に対して、就学の援助と社会的人材育成の支援を目的に学資の一部を給付する体制を執ったが、実績はなかった。

給付件数	給付金額
0 件 (±0)	0 円 (±0)

5 戦没者遺族援護事業【受託事業】

群馬県戦没者追悼式は縮小開催により会長のみの出席となり、戦没者遺族の連携と相互交流を図ることを目的とした事業も縮小して実施した。

期 日	場 所	参加者数
中止	東京方面	0 名 (±0)
令和4年8月15日	前橋市	1 名 (+1)
令和4年10月17日	高崎市方面	3 名 (+3)

※規模縮小

6 戦没者追悼式への協力

群馬県戦没者追悼式は規模縮小での実施となり、みどり市戦没者追悼式も縮小開催となり遺族の会役員のみ出席した。

(1) 群馬県戦没者追悼式

令和4年8月15日

(2) みどり市戦没者追悼式

令和4年9月29日

■ 福祉資金貸付事業

(成果)

- 1 県社協や生活困窮者自立相談支援機関と連携して借受人等の世帯を訪問し、生活状況の実態把握と償還指導、生活再建に向けた助言・指導を実施した結果、2世帯が償還完了となった。
- 2 民生委員の一斉改選により担当民生委員が変わる借受世帯のケースでは、支援活動が継続されるように新旧民生委員の引き継ぎを円滑に実施することができた。

(課題)

- 1 世帯訪問を実施しても不在であったり、不在票を置いてきても連絡のない借受人等もいるため、訪問方法や時間帯等を見直す必要がある。
- 2 物価上昇などの社会情勢の変化により、償還の見込みが立たない高齢の困窮者からの相談が増加傾向にあり、生活再建に向けた支援方法に苦慮している。

1 小口生活資金貸付事業

一時的に困窮する低所得世帯に対し経済的自立と生活意欲の促進を図り、世帯更生に寄与することを目的に貸付事業を行う体制を執ったが、相談や申請実績はなかった。

償還指導活動を生活困窮者自立相談支援機関と実施し、借受人の世帯を訪問したことで借受人等の現況を把握するとともに2件の償還完了に結び付けることができた。

内容	件数と金額
相談	0 件 (±0)
申請	0 件 (±0)
年度当初の債権	7 件 225,000 円 (-15,000)
当年度の新たな債権	0 件 0 円 (±0)
一部償還された債権	7 件 47,000 円 (+32,000)
償還が完了した債権	2 件 100,000 円 (+100,000)
償還を免除した債権	0 件 0 円 (±0)
年度末の債権	5 件 78,000 円 (-147,000)

2 生活福祉資金貸付事業への協力【県社協受託】

県社協や生活困窮者自立相談支援機関と連携し、相談者に対して適切な相談支援を行った。令和4年9月末日でコロナ特例の貸付は終了したが、依然として新型コロナで困窮している世帯等が多く、償還免除の相談に対し申請支援を行った。

(1) 各種貸付事業全体

相談件数	申請に至った件数	決定件数
134 件 (-148)	93 件 (-180)	86 件 (-167)

(2) 生活福祉資金（特例貸付以外）

資金種類	申請件数	決定件数	貸付決定額
総合支援資金	0 件 (±0)	0 件 (±0)	0 円 (±0)
福祉資金	0 件 (±0)	0 件 (±0)	0 円 (±0)
教育支援資金	0 件 (±0)	0 件 (±0)	0 円 (±0)
不動産担保型生活資金	0 件 (±0)	0 件 (±0)	0 円 (±0)
臨時特例つなぎ資金	0 件 (±0)	0 件 (±0)	0 円 (±0)
緊急小口資金	7 件 (+4)	6 件 (+4)	245,000 円 (+109,000)

※1件本人より辞退あり。

(3) 生活福祉資金（特例貸付）

資金種類	申請件数	決定件数	貸付決定額
緊急小口資金	53 件 (-78)	49 件 (-73)	8,850,000 円 (-13,550,000)
総合支援資金	33 件 (-37)	31 件 (-33)	17,200,000 円 (-17,050,000)
総合支援資金 延長	0 件 (-25)	0 件 (-25)	0 円 (-13,050,000)
総合支援資金 再貸付	0 件 (-43)	0 件 (-40)	0 円 (-21,600,000)

■ 共同募金事業

(成果)

- 1 社会情勢やニーズの変化に応じて共同募金の配分事業を適宜見直して実施することができた。
- 2 大間々高校による地域歳末たすけあい募金の街頭募金への協力を仲介し、共同募金運動の推進と啓発に寄与した。

(課題)

- 1 地域歳末たすけあい募金配分事業では、物価の上昇などにより事業を継続するための見直しを進める必要がある。

1 赤い羽根一般募金配分事業

ひとり親家庭の交流支援、災害ボランティア講座、心配ごと相談員研修等、赤い羽根一般募金配分金及び前年度地域歳末たすけあい募金再配分金を地域福祉事業に活用した。令和3年度は令和2年度の事業中止による繰越金が加算されたが、令和4年度への繰越金はなかったため、配分金額はいずれも減額となっている。

配分内容	配分金額
老人福祉活動費	0 円 (-80,000)
障がい児・者福祉活動費	75,000 円 (-296,499)
母子・父子福祉活動費	250,000 円 (-176,653)
福祉育成・援助活動費	240,000 円 (-40,000)
ボランティア活動育成事業費	357,840 円 (-92,160)
広報・啓発活動費	85,500 円 (-651,500)

2 地域歳末たすけあい募金配分事業

地域歳末たすけあい募金配分金を、歳末に実施する各種事業に活用した。児童福祉施設、障がい児・者施設への配分を利用者数に応じたものとし、公平性を高めることに努めた。

配分内容	配分対象	配分金額
障がい児・者施設歳末行事助成事業	31 ヶ所 (+1)	432,895 円 (-165,865)
独居高齢者世帯等おせち料理配付事業	345 世帯 (+23)	1,033,400 円 (+81,278)
独居高齢者世帯福祉カレンダー配付事業	1,739 世帯 (-111)	174,504 円 (+71,824)
若年ひとり親家庭等日帰り旅行	9 世帯 (-1)	125,591 円 (-59,659)
子育て支援品贈呈事業	49 名 (+11)	264,706 円 (+59,812)
児童福祉施設等歳末行事助成事業	27 ヶ所 (+3)	824,390 円 (+13,680)
次年度の福祉サービス事業配分費	—	267,143 円 (+46,303)

3 共同募金会みどり市支会への協力

共同募金会みどり市支会が実施する一般募金及び歳末たすけあい募金運動の際に市広報紙や社協だよりに募金運動啓発記事を掲載し、募金運動を支援した。また、大間々高校と支会を仲介し、新たな試みである同校生徒による地域歳末たすけあい街頭募金の実施に結び付けることができた。

■ 居宅介護等事業(介護給付・予防給付)

(成果)

- 1 介護保険制度改正に伴うサービス利用者への配慮及びきめ細やかな対応に努めた。
- 2 東地域での通所介護事業に対するニーズについて満たすことができおり、利用者の信頼も得ていると思われる。

(課題)

- 1 居宅介護支援事業所の統合により一時的に人員が減り、みどり市全域を網羅することが困難だった。
- 2 在宅介護の環境が変化してきており、通所介護の利用者の減少が続き収支が悪化している。東地域周辺での職員確保(資格者等)が難しくなっている。
- 3 居宅介護支援事業所を選んで頂いたら断ることなく、利用者に対応できるような体制を整える必要がある。

1 居宅介護支援事業

利用者主体のもとに介護相談、要介護認定申請代行、関係機関との連絡調整、介護計画(ケアプラン)作成、保険給付管理、介護予防、生活支援(住宅改修)など対象者への継続的支援を行ったが、利用者の入院、施設入所、利用控え並びに事業所統合による人員減少により、報酬額の減少が続いている。

(1) 居宅介護支援

事業所名	延支援計画件数	居宅介護報酬額
居宅介護支援事業所	769 件 (-511)	9,112,280 円 (-6,547,850)

(2) 予防給付支援

事業所名	延支援計画件数	予防給付報酬額
居宅介護支援事業所	194 件 (-187)	867,720 円 (-869,550)

2 訪問介護事業

介護給付対象の利用者に対し、身体介護や生活支援(家事援助)サービスを提供し、希望に即したサービス提供体制の整備に努めた。介護報酬については、終末期の利用者や入浴介助(身体介助)は増えたが、身体介助に比べて介護報酬の低い家事支援も増えたため減額となった。

(1) 訪問介護ステーション

実利用者数の年間平均	延訪問回数	介護支援報酬額
31.6 名 (+1.5)	3,796 回 (-213)	13,638,951 円 (-300,824)

3 通所介護事業

利用控えや時間短縮等があり、利用実績(人数、報酬)等とも減少している。それに加え、生活・介護環境の変化により施設入所者が増えており、改善には課題が多い。令和5年度には介護報酬の改定もあることから、規模変更(通常規模から地域密着へ)を図っていく為に各種機関とすり合わせを行う必要がある。

(1) デイサービスセンター東

実利用者数の年間平均	延利用者数	介護支援報酬額
24.7名 (-4.5)	2,838名 (-734)	20,068,733円 (-4,993,297)

4 総合事業の訪問介護事業

総合支援対象の利用者に、生活支援サービスを提供し、利用者の希望に即したサービス提供体制の整備に努めた。介護報酬については、利用者が増えたため増額となった。

(1) 訪問介護ステーション

実利用者数の年間平均	延訪問回数	1人あたり平均回数	介護支援報酬額
26.6名 (+1.1)	2,077回 (+204)	6.5回 (+0.5)	6,294,719円 (+532,929)

5 総合事業の通所介護事業

(1) デイサービスセンター東

総合支援対象の利用者に、心身機能の維持向上のため支援方法を工夫し生活支援サービスを提供した。利用控え、時間短縮及び施設入所者の増加等があり、利用実績（人数、報酬）等とも減少している。

実利用者数の年間平均	7.58名 (-1.42)
介護支援報酬額	2,189,155円 (-482,505)

■ 障害者居宅介護等事業

(成果)

- 1 利用者の要望に応えることで、自立した生活のための支援ができた。また、利用者への配慮及び細やかな対応に努めることができた。

(課題)

- 1 支援件数、報酬額が減少している状況の中、今後も利用者の希望に即した生活支援等を行うにあたり、職員の研修を積極的に活用することで、職員の資質向上に努め、より良いサービス提供を行う必要がある。

1 居宅介護事業

利用者の希望に即した生活支援等を提供した。介護支援については、本年度は生活支援（家事）のみだった。

(1) 訪問介護ステーション

実利用者数の年間平均	延訪問回数	1人あたり平均回数	介護支援報酬額
7.0名 (-1.0)	402回 (-215)	4.8回 (-1.25)	1,160,560円 (-921,370)

■ 施設管理運営【市指定管理受託】

(成果)

- 1 学童保育所においては、令和4年度から親老児童館が笠懸小学童クラブと笠懸西小学童クラブへと変更となった。そのため、利用者への説明等を行い、円滑な移行となるよう運営した。
- 2 全ての指定管理施設において、市民に安心して利用いただけるよう感染対策、安全対策を徹底した。

(課題)

- 1 令和5年度から、大間々支所の事務所移転に伴い、みどり市立厚生会館の指定管理者ではなくなるため、市民（特にみどり市立厚生会館利用者）に対して、混乱を招かないよう移転に関することを丁寧に説明する必要がある。
- 2 コロナの感染状況が落ち着き、徐々にコロナ流行前の施設利用状況に戻ることが予測される。また、災害発生時等でも避難場所として利活用される施設もあることから、安全対策を徹底していく必要がある。

1 笠懸小学童クラブ

放課後児童健全育成に関する制度に基づき、感染対策を行いながら開所し、小学校等と連携を図り、放課後保育支援を行った。また、利用時間の延長に対応し、子育て支援の充実を図った。

(1) 笠懸小学童クラブ(こだまクラブ・のぞみクラブ・はやてクラブ)

年間開所日数	293 日 (+6)
延利用人数	21,141 名 (-1,027)
平均利用人数	72.2 名 (-5.0)
保護者会の開催	0 回 (±0)

(2) 行事等の実施[笠懸小学童クラブ]

月	行事内容
4月	・避難訓練(地震) ・お楽しみ会(対面式)
5月	・誕生会 ・避難訓練(火災)
6月	・不審者対策避難訓練 ・交通安全教室
7月	・七夕 ・誕生会
8月	・夏休み制作
9月	・防災の日(避難訓練(地震)) ・誕生会 ・十五夜
10月	・十三夜
11月	・誕生会 ・総合防災訓練
12月	・クリスマス制作 ・クリスマス会
1月	・お楽しみ会 ・誕生会
2月	・節分 ・避難訓練(火災)
3月	・ひなまつり ・誕生会 ・お別れ会

2 笠懸西小学童クラブ

放課後児童健全育成に関する制度に基づき、感染対策を行いながら開所し、小学校等と連携を図り、放課後保育支援を行った。また、利用時間の延長に対応し、子育て支援の充実を図った。

(1) 笠懸西小学童クラブ(はやぶさクラブ・ひかりクラブ・やまびこクラブ)

年間開所日数	293 日 (+14)
延利用人数	22,594 名 (+7,553)
平均利用人数	77.1 名 (+23.2)
保護者会の開催	0 回 (±0)

(2) 行事等の実施[笠懸西小学童クラブ]

月	行事内容
4月	・避難訓練(地震) ・お楽しみ会(対面式)
5月	・誕生会 ・避難訓練(火災)
6月	・不審者対策避難訓練 ・交通安全教室
7月	・七夕 ・誕生会
8月	・夏休み制作
9月	・防災の日(避難訓練(地震)) ・誕生会 ・十五夜
10月	・十三夜
11月	・誕生会 ・総合防災訓練
12月	・クリスマス制作 ・クリスマス会
1月	・お楽しみ会 ・誕生会
2月	・節分 ・避難訓練(火災)
3月	・ひなまつり ・誕生会 ・お別れ会

3 笠懸東学童クラブ

放課後児童健全育成に関する制度に基づき、感染対策を行いながら開所し、小学校等と連携を図り、放課後保育支援を行った。また、利用時間の延長に対応し、子育て支援の充実を図った。

(1) 第1笠懸東学童クラブ(宙クラブ・虹クラブ)

年間開所日数	293 日 (±0)
延利用人数	13,629 名 (-699)
平均利用人数	46.5 名 (-2.4)
保護者会の開催	0 回 (±0)

(2) 第2笠懸東学童クラブ(星クラブ)

年間開所日数	293 日 (+4)
延利用人数	5,874 名 (-1,420)
平均利用人数	20.0 名 (-5.2)
保護者会の開催	0 回 (±0)

※令和4年度から、笠懸小学童クラブと笠懸西小学童クラブを新たに運営した。前年度比較については、旧第1親老児童館と旧第2親老児童館の各クラブの状況を基に比較している。

(3) 行事等の実施[第1笠懸東学童クラブ・第2笠懸東学童クラブ]

月	行事内容
4月	・お楽しみ会(新入所生歓迎会) ・避難訓練(火災)
5月	・節句
6月	・不審者対策避難訓練 ・誕生会
7月	・七夕
8月	・夏休みの遊び
9月	・誕生会 ・十五夜 ・敬老の日 ・避難訓練(地震)
10月	・十三夜
11月	・総合防災訓練
12月	・クリスマス制作 ・誕生会 ・クリスマス会
1月	・お楽しみ会(正月遊び)
2月	・節分 ・避難訓練(火災)
3月	・ひなまつり ・お楽しみ会(お別れ会) ・誕生会

4 障害者福祉センター

みどり市内における在宅障がい児・者の地域支援機関として、地域活動支援センター、障害者デイサービスセンター及び相談支援事業所を運営した。

(1) 地域活動支援センター

利用者が地域において自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、創作的活動及び生産活動の機会を提供するとともに地域との交流を図った。

利用ニーズには最大限応じることに努め感染対策を最優先にサービスの提供に努めた。

年間運営日数： 243 日

年間利用人数： [西館] 3,157 名(1日平均 13.0 名)

[東館] 376 名(1日平均 1.5 名)

年間工賃総額： 846,638 円

在籍者数： [西館] 24 名(令和 5年 3月 31日現在)

[東館] 26 名(同 上)

[行事等]

月	行事内容
4月	
5月	・あさがお栽培
6月	・鹿田山さつま芋植え ・じゃがいも掘り
7月	
8月	
9月	
10月	・鹿田山さつま芋掘り ・ハロウィン行事
11月	・地域清掃活動
12月	・クリスマス会
1月	
2月	
3月	・じゃがいも植え

[特別支援学校実習生(就業体験)受け入れ]

なし

[利用希望者の実習(体験利用)受け入れ]

地域活動支援センター西館 2名 計 14日

地域活動支援センター東館 4名 計 7日

[一般ボランティア体験希望者の受け入れ]

精神保健福祉ボランティア養成講座受講生 3名

(2) 障害者デイサービスセンター

重度心身障がい者の通所の場合として、養護、生活支援、日常動作訓練、食事、送迎、入浴サービスを行い、地域生活を支援するとともに、介護を行う家族の負担軽減を図った。新型コロナの感染拡大期には一時的な利用自粛をお願いした一方で、利用ニーズには最大限応じることにも努め、感染対策を最優先に通常どおりのサービスの提供に努めた。

年間運営日数： 243日

年間利用人数： 812名(1日平均 3.3名)

在籍者数： 8名(令和5年3月31日現在)

[行事等]

月	行事内容
4月	・機能訓練
5月	・機能訓練
6月	・機能訓練
7月	・機能訓練
8月	・機能訓練
9月	・機能訓練
10月	・機能訓練 ・ハロウィン行事
11月	・機能訓練
12月	・機能訓練 ・クリスマス会
1月	
2月	
3月	・機能訓練

[実習生受け入れ]

なし

(3) 相談支援事業所

障がい児・者の基本的な相談に応じるとともに、サービス等利用計画作成のための相談、障害支援区分認定調査業務などを行った。迅速な相談対応に努めた。

(4) その他

①みどり市障害者福祉センター運営委員会

第1回及び第2回の会議を開催し、障害者福祉センターに関する運営状況の報告、施設の円滑な運営とサービスの向上について協議した。

第1回	令和4年6月14日	障害者福祉センター
第2回	令和5年2月14日	同上

②みどり市障害者福祉センター保護者会

前年度の活動状況や会計報告等、会員へは書面による報告とした。その後の運営に係る協議事項等については役員間の電話連絡等による調整の方法も取りながら、2回にわたり会議を実施した。

第1回	令和4年7月19日	障害者福祉センター
第2回	令和5年3月24日	同上

③つばさまつり

新型コロナの流行状況に配慮し、中止した。

期 日	中止
実施場所	

5 厚生会館

住民福祉の向上、市民活動を推進する地域施設としての施設運営に取り組み、市民活動と地域福祉の向上に努めた。

年間運営日数	306日 (+88)
年間利用人数	8,744名 (+5,578)
平均利用人数	28.6名 (+14.1)

6 老人憩の家

高齢者の集いの場として、利用者の安全を確保しながら、カラオケや各種団体の活動に利用いただいた。

大間々では、年度途中から開館するとともに入浴機能が廃止になったことに伴い、利用方法が変更となった。

	笠懸	大間々
年間運営日数	243日 (+148)	228日 (+228)
年間利用人数	3,461名 (+2,218)	956名 (+956)
平均利用人数	14.2名 (+1.1)	4.2名 (+4.2)

7 老人福祉センター

地域の高齢者に対し、教養の向上や交流のための場を提供し、心身の健康増進が図れるよう管理運営を行った。利用者への検温、消毒及び施設内の換気消毒を行い感染対策を徹底し事業継続に努めた。

年間運営日数	305日 (+113)
年間利用人数	10,423名 (+6263)
平均利用人数	34.2名 (+12.5)

8 高齢者生活福祉センター

高齢等により、居宅において自立して生活することに不安のあるひとり暮らしの人等に対し、一定の期間の住居を提供し、自立生活できるよう支援・管理運営を行った。利用者や職員等の検温・酸素濃度測定、館内の換気消毒を徹底し事業継続に努めた。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
既入居者	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1.8
新規入居者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
退出(退居)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0.1
月末在籍	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1.8

■ その他

1 視察等の受け入れ
なし

2 後援・共催

期日	事業名	主催団体
令和4年8月28日	第2回みどり市ボッチャ交流大会	みどり市ユニバーサルボッチャ協会
令和4年8月12日から12月20日	令和4年度 みどり市笠懸地域高齢者大学	みどり市笠懸公民館